

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成24年8月2日(2012.8.2)

【公表番号】特表2009-519992(P2009-519992A)

【公表日】平成21年5月21日(2009.5.21)

【年通号数】公開・登録公報2009-020

【出願番号】特願2008-546323(P2008-546323)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/34 (2006.01)

A 6 1 Q 11/00 (2006.01)

A 6 1 K 9/16 (2006.01)

A 6 1 K 47/10 (2006.01)

A 6 1 K 9/10 (2006.01)

A 6 1 K 9/08 (2006.01)

A 2 3 G 4/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 8/34

A 6 1 Q 11/00

A 6 1 K 9/16

A 6 1 K 47/10

A 6 1 K 9/10

A 6 1 K 9/08

A 2 3 G 3/30

【誤訳訂正書】

【提出日】平成24年6月6日(2012.6.6)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0041

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0041】

少なくとも80%のメントール粒子の量、好ましくは少なくとも90%のメントール粒子の量において、最小直径と最大直径の比率(商) d/D が $1.00 \geq d/D \geq 0.80$ の範囲である。

メントール粒子の少なくとも80%の量、好ましくは少なくとも90%の量において、最小直径と最大直径の商 d/D が、 $1.00 \geq d/D \geq 0.90$ の式を満たし、より好ましくは、 $1.00 \geq d/D \geq 0.95$ の式を満たすことが、特に好ましい。

本発明の方法により、そのような好ましい球状粒子の集合を製造することができる。すなわち、メントールペレットとは異なり、型の継ぎ目が無い、非常に均一な形状の球状メントール(メントール顆粒)を製造することができる。